

駅前仏教講座

仏教からみる「葬式」 ～人間は葬送する存在～



講師 門脇 健さん

1954年生まれ。大谷大学文学部哲学科教授。福井県善久寺住職。編著に『揺れ動く死と生』（晃洋書房）など、翻訳としてフロイト「トーテムとタブー」（『フロイト全集』第十二巻、岩波書店）などがある。哲学科の教員によるブログ「哲学科教員ブログ」を日々更新中。

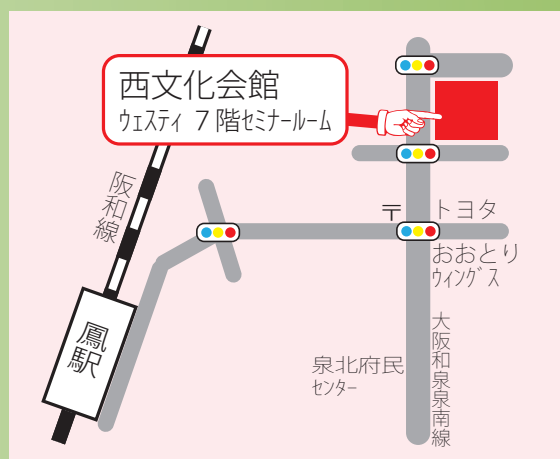
参加費無料
定員80名

2012.3.28(WED)
PM 6:30 ~ 8:30

西文化会館 ウェスティ
(7階セミナールーム)

堺市西区鳳東町6-600 TEL072-275-0120

* JR阪和線「鳳駅」東出口より東へ徒歩10分



時代の変化とともに、葬式のあり方が変わってきています。人間の生活が合理化という潮流に飲み込まれていく中で、葬式本来の意味が見失われつつあります。昨今では家族葬や親戚葬というスタイルから、儀式を行わずそのまま斎場で火葬にする直葬まで現れてきています。今回の講座では、このような価値観が多様化する現代社会の中で、葬式が持つ意味を人間の葬送の歴史を通して考えます。また、亡き人が今どのように私に声をかけようとなさっているのかを確かめます。是非、ご聴講ください。

【駅前仏教講座】

仏教の教えを通して現代の課題をテーマに、どなたでもお気軽にご参加いただけるよう、会場を市民施設等にて行う講座です。

駅前仏教講座 仏教からみる
ブログ公開中

<http://civillite.blog118.fc2.com/>



主催 真宗大谷派(東本願寺) 大阪教区第21組教化委員会